

三中だよい

三崎中学校校歌

珠洲の海原 そよ風渡り いま朝日の 光のうちに
玉も白たま より来る岸辺 望みあふれて いそしみはげむ
我等が 三崎中学校

校訓 自治 親和 責任

学校教育目標

自立して学び、
人と協働して
貢献できる生徒の育成



令和7年7月29日 第4号 珠洲市立三崎中学校

珠洲市立三崎中学校

検索

1学期を振り返って ~一歩前進~

令和7年度の1学期が終了しました。始業式で生徒に伝えた「一歩前進」。「自分たちが一歩前進できたと感じたこと」について、終業式で振り返ってもらいました。3年生は「チーチャー制で先生たちと会話したりアドバイスをもらったりすることで、家庭学習の時間が増えた。」2年生は「(部活動で)3年生が抜けた後も自分たちで協力しながら取り組むことができた。」などの答えが返ってきました。初めは難しいと感じていた学習や部活動も、仲間と励まし合いながら乗り越え、できることができが少しづつ増えていったのではないかと感じています。特に今年は「地域と交流する機会」を増やすことを意識し、小学校の運動会に参加したり、地域の方をお誘いして「花植え」や「梅ジュースづくり」、「避難訓練」を行ったりすることができました。それらの行事では、生徒たちは協力しあい、それぞれが自分の役割を果たす姿が輝いていました。また、こうした温かい交流は、子どもたちの心を育むとともに、子どもたちの安全・安心にもつながっていると考えています。

保護者の皆様、地域の皆様、ともに多大なるご協力をいただき、子どもたちを温かく見守っていただきましたことに、心より感謝申し上げます。2学期も、子どもたちとともに歩みを止めず、さらに前に進んでまいります。引き続き、温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

校長 三益邦子

8月行事予定

4日（月）	サイエンスチャレンジ(中能登中)
6日（水）	全校登校日(みさき小集合) 小中合同海岸清掃ボランティア、平和集会
8日（金）	珠洲市親子議会
12日（火）～ 15日（金）	学校閉庁
20日（水）	全校登校日 兵庫県立舞子高等学校生徒との交流 (緑丘中)
21日（木）	漢字検定 11:00～12:00
27日（水）	新教育課程講演会 三崎地区学校運営協議会(みさき小)
29日（金）	職員会議

三崎中学校体育祭
9月20日（土）
三崎中学校仮設グラウンド
8：45入場行進

9月行事予定

1日（月）	2学期始業式 グッドマナーキャンペーン(～5日)
2日（火）	夏休み明けテスト
3日（水）	夏休み明けテスト 生徒会専門委員会
5日（金）	生徒集会
6日（土）	奥能登新人ソフトテニス大会
17日（水）	市学教研
18日（木）	体育祭予行練習
20日（土）	三崎中体育祭
22日（月）	体育祭振替休業日 (ただし、順延日が23日の場合、振替休業日は26日(金)になります)
24日（水）	市学教研
29日（月）	職員会議

仮設グラウンド完成

7月5日（土）

三崎中学校の仮設グラウンドがいよいよ完成しました！そして、最後の仕上げとして、みんなで天然芝の植え込みを行いました。今回植え込んだ天然芝は、日本サッカー協会様よりグラウンド全面を覆うのに十分な苗をご寄贈いただいたものです。その数、なんと 16,000 株以上！とても三崎中学校だけでは植えきれない数でしたが、県サッカー協会の皆様や選手、ご家族の皆様をはじめ、三崎地区の皆様、保護者の皆様にご協力いただき、非常に暑い中でしたが、2 時間足らずで全ての芝生の植え込みを完了することができました。生徒たちも、汗を流しながら一生懸命作業に取り組み、協力することの大切さを改めて実感する貴重な経験となりました。

また、日本サッカー協会様からは、天然芝を管理するためのスプリンクラー式と自動芝刈り機もご寄贈いただきました。これにより、今後も美しい芝生を維持していくことができます。心より感謝申し上げます。

9月20日の三中体育祭では、この新しい天然芝のグラウンドで様々な演技ができるなどを、生徒・職員一同、今からとも楽しみにしています。ぜひ、きれいになったグラウンドで、生徒たちの活躍をご覧いただければ幸いです。



地域とともに 避難訓練

7月8日（火）

今学期の避難訓練は、「大きな地震の後の津波発生」を想定して行われました。今回は、石川県下一斎のシェイクアウト訓練に合わせて、地域の皆様にもご参加いただき、より実践的な訓練となりました。

訓練は、2年生とあさひこ学級が各教室で授業中に、そして3年生は公民館で地域の皆様と交流授業を行っている最中に、大きな揺れの合図とともに始まりました。生徒たちは皆、すぐにその場でしゃがみ、頭を守る行動をしっかりと取ることができました。1分間の揺れが収まった後、生徒たちは各自、避難場所である3階の多目的室を目指しました。

特に、公民館にいた3年生は、地域の皆様に声をかけながら校舎内に入り、安全に配慮しながら3階まで誘導する姿が見られました。また、2階の階段踊り場では、ヘルメットを着用し防災リュックを持った2年生が、避難してきた方々に声掛けを行い、速やかな避難を促していました。生徒たちが、いざという時に地域の方々と協力して行動できること、そして自助・共助の意識を持っていることを実感できた場面でした。

今回の避難訓練では、揺れが収まってから全ての避難が完了するまでに、5分強の時間がかかりました。珠洲市のハザードマップによると、本校3階の標高は16.4mです。三崎中学校のある宇治地区で想定されている最大津波高は13.5mであり、いかに早く3階まで避難できるかが命を守る上で重要となります。今年度、三崎中の階段には新たに手すりが設置されました。これは、避難経路の安全性向上に大きく貢献するものです。しかし、「できるだけ多くの人が、できるだけ早く避難するにはどうすれば良いか」については、まだまだ工夫が必要です。

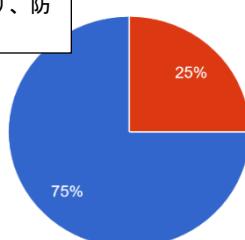
これからも、生徒たちとともに、様々な状況に対応できる避難方法について考え、訓練を重ねていきたいと思います。

今回の避難訓練では、地域の皆様をはじめ、育友会役員の竹澤さんと高筒さんに記録用の動画を撮影していただきました。ご多忙の中、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

避難訓練 生徒の振り返りアンケートより

揺れがおさまった合図をうけて、避難の準備（ヘルメットをかぶり、防災パックをもつ）ができた。

- 指示されなくてもできた
- 指示されて、思い出してできた
- できなかった



大津波警報をうけて、校舎内に避難してくる地域の方に地域の方に協力して避難することができた。

- できた
- できなかつた

